

ドイツ語学ドイツ文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
ドイツ文学特論Ⅰ	ドイツ詩を読む	2	藤田 恭子	前期 金曜日 2講時	
ドイツ文学特論Ⅱ	ドイツの散文作品を読む	2	藤田 恭子	後期 金曜日 2講時	
ドイツ文化学特論Ⅰ	ドイツ(語)文化圏としての中欧 の文化と歴史 (4)	2	佐藤 雪野	前期 火曜日 2講時	
ドイツ文化学特論Ⅱ	ドイツ(語)文化圏としての中欧 の文化と歴史 (5)	2	佐藤 雪野	後期 火曜日 2講時	
ドイツ文学研究演習Ⅰ	近現代ドイツ文学講読	2	嶋崎 啓	前期 水曜日 4講時	
ドイツ文学研究演習Ⅱ	近現代ドイツ文学講読	2	嶋崎 啓	後期 水曜日 4講時	
ドイツ語学研究演習Ⅰ	ドイツ語・ドイツ語圏文化講読	2	NARROG HEIKO	前期 火曜日 3講時	
ドイツ語学研究演習Ⅱ	ドイツ語・ドイツ語圏文化講読	2	NARROG HEIKO	後期 火曜日 3講時	

科目名：ドイツ文学特論 I / German Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：藤田 恭子

コード：LM15204, 科目ナンバリング：LGH-LIT630J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ詩を読む
2. Course Title (授業題目) : Deutsche Gedichte lesen
3. 授業の目的と概要： 詩のテキストを厳密に読み、凝縮された言語表現からイメージを膨らませる。その際、詩のテキスト解釈を補強するべく、詩人の他のテキストや二次文献を読む。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : In diesem Seminar wird durch die genaue Lektüre von Gedichten die Entwicklung von Bildern aus verdichteten sprachlichen Ausdrücken geübt. Dabei werden auch andere Texte der Dichterin sowie Sekundärliteratur eingesetzt, um ihre Gedichte überzeugender interpretieren zu können.
5. 学習の到達目標：ドイツ語による詩を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : Kennenlernen der Methodologie, Gedichte in deutscher Sprache unter Einbeziehung des sprachlichen und zeitlichen Kontexts zu interpretieren.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
授業は対面あるいはオンラインのリアルタイム授業として行う。
事例として、オーストリア帝国領からルーマニア領となったブコヴィナ出身のユダヤ系詩人ローゼ・アウスレンダー (Rose Ausländer, 1901-1988) のテキストを取り上げ、彼女の自伝的エッセイや二次文献の一部を読んだうえで、再度、詩のテキストを読み直す。ホロコーストやディアスポラといった現代ドイツ文学の背景にある諸問題にも触れる。

第1回 導入
第2回 ローゼ・アウスレンダーの詩 (1)
第3回 ローゼ・アウスレンダーの詩 (2)
第4回 ローゼ・アウスレンダーの自伝的エッセイ (1)
第5回 ローゼ・アウスレンダーの自伝的エッセイ (2)
第6回 ローゼ・アウスレンダーの自伝的エッセイ (3)
第7回 ローゼ・アウスレンダーの自伝的エッセイ (4)
第8回 二次文献 (1)
第9回 二次文献 (2)
第10回 二次文献 (3)
第11回 二次文献 (4)
第12回 二次文献 (5)
第13回 ローゼ・アウスレンダーの詩 (3)
第14回 ローゼ・アウスレンダーの詩 (4)
第15回 まとめ
8. 成績評価方法：
平常点 (出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加)
9. 教科書および参考書：
プリントを配付する。Texte werden im Voraus verteilt.
10. 授業時間外学習：事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。
Lesen und verstehen der im Voraus verteilten Texte wird vorausgesetzt.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー
Kommunikation außerhalb des Unterrichts (Verteilung von Texten, Einreichung von Hausaufgaben, etc.) findet über Google Classroom statt. Die Kontaktadresse der Lehrkraft lautet kyoko.fujita.e5 (at) tohoku.ac.jp.

科目名：ドイツ文学特論Ⅱ／ German Literature (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：藤田 恭子

コード：LM25204, 科目ナンバリング：LGH-LIT631J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目： ドイツの散文作品を読む
2. Course Title (授業題目) : Deutsche Prosa lesen
3. 授業の目的と概要： 散文テキストを読み、また著者の自伝的テキストや二次文献を読んで、多様な解釈の可能性を知る。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : In dieser Klasse wird geübt, Prosatexte genau zu. Dabei werden auch autobiografische Texte der Schriftstellerin sowie Sekundärliteratur über sie eingesetzt, um die Texte überzeugender interpretieren zu können.
5. 学習の到達目標： ドイツ語による散文を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : Kennenlernen der Methodologie, Prosatexte in deutscher Sprache unter Einbeziehung des sprachlichen und zeitlichen Kontexts zu interpretieren.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
授業は対面あるいはオンラインのリアルタイム授業として行う。
事例として、2009年度ノーベル文学賞を受賞したヘルタ・ミュラー (Herta Müller, 1953-) のテキストを取り上げる。彼女の自伝的エッセイや二次文献の一部も読む。

第1回 導入

第2回 ヘルタ・ミュラーの初期テキスト “Niederungen “ (1)

第3回 ヘルタ・ミュラーの初期テキスト “Niederungen “ (2)

第4回 ヘルタ・ミュラーの初期テキスト “Niederungen “ (3)

第5回 ヘルタ・ミュラーの初期テキスト “Niederungen “ (4)

第6回 ヘルタ・ミュラーの初期テキスト “Niederungen “ (5)

第7回 ヘルタ・ミュラーの初期テキスト “Niederungen “ (6)

第8回 ヘルタ・ミュラーの初期テキスト “Niederungen “ (7)

第9回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (1)

第10回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (2)

第11回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (3)

第12回 二次文献 (1)

第13回 二次文献 (2)

第14回 二次文献 (3)

第15回 まとめ

8. 成績評価方法：
平常点 (出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加)
9. 教科書および参考書：
プリントを配付する。

Texte werden im Voraus verteilt.

10. 授業時間外学習： 事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。

Lesen und verstehen der im Voraus verteilten Texte wird vorausgesetzt.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。

教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

Kommunikation außerhalb des Unterrichts (Verteilung von Texten, Einreichung von Hausaufgaben, etc.) findet über Google Classroom statt. Die Kontaktadresse der Lehrkraft lautet kyoko.fujita.e5 (at) tohoku.ac.jp.

科目名：ドイツ文化学特論 I / German Culture (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LM12206, 科目ナンバリング：LGH-LIT632J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (4)

2. Course Title (授業題目)：Culture and History of Central Europe as a German Cultural Sphere (4)

3. 授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほか、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides students knowledge of history and culture of German speaking area, especially outside of today's Germany.

For this purpose we will discuss on multi-cultural Prague, also as a German cultural sphere.

Besides lectures we will read a German text in order to improve the students' ability of German language.

5. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students will understand history and culture of German speaking area.

2. Students will develop skills to read German academic text.

3. Students will be able to present their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

対面授業を原則とする。

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. プラハの歴史
3. ボヘミアとドイツ人
4. プラハとユダヤ人
5. プラハのドイツ文学
6. Mandelduft 1
7. Mandelduft 2
8. Mandelduft 3
9. Mandelduft 4
10. Mandelduft 5
11. Mandelduft 6
12. Mandelduft 7
13. Mandelduft 8
14. Mandelduft 9
15. まとめ

8. 成績評価方法：

平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリント配布

その他の参考書は授業中に指示する。

Text will be provided at the class. Reference books will be introduced at the class.

10. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

The further information for the lecturer will be given in class.

科目名：ドイツ文化学特論Ⅱ／ German Culture (Advanced Lecture) II

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：佐藤 雪野

コード：LM22204, 科目ナンバリング：LGH-LIT633J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (5)

2. Course Title (授業題目)：Culture and History of Central Europe as a German Cultural Sphere (5)

3. 授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほか、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides students knowledge of history and culture of German speaking area, especially outside of today's Germany.

For this purpose we will discuss on multi-cultural Prague, also as a German cultural sphere.

Besides lectures we will read a German text in order to improve the students' ability of German language.

5. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students will understand history and culture of German speaking area.

2. Students will develop skills to read German academic text.

3. Students will be able to present their research.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

対面授業を原則とする。

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. レンカ・ライネロヴァーとプラハ
3. ホロコーストとプラハ
4. Lenka Reinerová: Mandelduft 1
5. Mandelduft 2
6. Mandelduft 3
7. Mandelduft 4
8. Mandelduft 5
9. Mandelduft 6
10. Mandelduft 7
11. Mandelduft 8
12. Mandelduft 9
13. Mandelduft 10
14. Mandelduft 11
15. まとめ

8. 成績評価方法：

平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリント配布。

その他の参考書は授業中に指示する。

Text will be provided at the classroom. Reference books will be introduced at the class.

10. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

The further information for the lecturer will be given in class.

科目名：ドイツ文学研究演習 I / German Literature (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LM13406, 科目ナンバリング：LGH-LIT634J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代ドイツ文学講読

2. Course Title (授業題目) : Reading Modern German Literature

3. 授業の目的と概要：近現代のドイツ語の文学作品を原文で読み、ドイツ文学一般の特徴と個々の作家の特徴を探る。今期はゲーテ (Johann Wolfgang Goethe) の「狐のライネケ」(Reineke Fuchs) を読む。「狐のライネケ」は中世の狐物語群に連なる動物叙事詩である。ラテン語の「イセングリムス」、古フランス語の「狐物語」、中世低地ドイツ語の「狐ラインケ」等、中世に始まり、ヨーロッパ中に広まった狐物語の系譜は悪漢小説の起源でもある。授業では「悪い者が栄える」ということの意味を考えたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : In diesem Seminar wird ein deutsches modernes Literaturwerk gelesen, wobei man die Eigenschaften der deutschen Literatur im Allgemeinen bzw. eines einzelnen Autors betrachten soll.

In diesem Semester handelt es sich um "Reineke Fuchs" von Johann Wolfgang von Goethe. "Reineke Fuchs" ist ein Tierepos, das aus den Fuchsdichtungen im Mittelalter stammt. Die Fuchsdichtungen, in denen besonders "Ysengrimus" im Lateinischen, "Le Roman de Renart" im Altfranzösischen, "Reynke de Vos" im Mittelniederdeutschen u. s. w. bekannt sind, werden auch als ein Ursprung der Schelmenromane angesehen. Im Seminar geht es auch darum, warum die Geschichten, in den die Bösen Erfolg haben, verfasst werden.

5. 学習の到達目標：ドイツ語で書かれた文学作品を読んで文脈と個々の語彙から内容を理解することができる。作品の内容について自分なりの解釈ができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Ziel des Unterrichts ist, dass man über die Bedeutung der einzelnen Wörter und des Kontexts den Inhalt eines deutschen Literaturwerks genau verstehen und den Inhalt interpretieren kann.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 ガイダンス

2 Reineke Fuchs 講読 1, S. 285-289

3 Reineke Fuchs 講読 2, S. 290-294

4 Reineke Fuchs 講読 3, S. 295-299

5 Reineke Fuchs 講読 4, S. 300-304

6 Reineke Fuchs 講読 5, S. 305-309

7 Reineke Fuchs 講読 6, S. 310-314

8 Reineke Fuchs 講読 7, S. 315-319

9 Reineke Fuchs 講読 8, S. 320-324

10 Reineke Fuchs 講読 9, S. 325-329

11 Reineke Fuchs 講読 10, S. 330-334

12 Reineke Fuchs 講読 11, S. 335-339

13 Reineke Fuchs 講読 12, S. 340-344

14 Reineke Fuchs 講読 13, S. 345-349

15 Reineke Fuchs 講読 14, S. 350-354

8. 成績評価方法：

平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。

10. 授業時間外学習：小学館「独和大辞典」、相良「大独和辞典」はもとより、Grimms Wörterbuch, Adelung, インターネットの DWDS など、あらゆる手段を使って予習をすること。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

授業の形態(対面かオンラインか)は Classroom で指示する予定。

科目名：ドイツ文学研究演習Ⅱ／ German Literature (Advanced Seminar) II

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：2 学期 単位数：2

担当教員：嶋崎 啓

コード：LM23405, 科目ナンバリング：LGH-LIT635J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代ドイツ文学講読

2. Course Title (授業題目) : Reading Modern German Literature

3. 授業の目的と概要：近現代のドイツ語の文学作品を原文で読み、ドイツ文学一般の特徴と個々の作家の特徴を探る。今期はトーマス・マン (Thomas Mann) の「トリスタン」(Tristan) を読む。「トリスタン」はワーグナーのオペラ「トリスタンとイゾルデ」にもとづくパロディー作品であるが、その元には中世のトリスタン物語がある。授業では既婚者との恋愛がなぜ文学のテーマになりつづけるのかについて考えたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : In diesem Seminar wird ein deutsches modernes Literaturwerk gelesen, wobei man die Eigenschaften der deutschen Literatur im Allgemeinen bzw. eines einzelnen Autors betrachten soll.

In diesem Semester handelt es sich um "Tristan" von Thomas Mann. "Tristan" ist eine Parody, der die Oper "Tristan und Isolde" von Richard Wagner zu Grunde liegt, die ihrerseits auf den Tristandichtungen im Mittelalter basiert. Im Seminar soll auch gefragt werden, warum die Liebe mit einer Verheirateten ein literarisches Thema war und noch ist.

5. 学習の到達目標：ドイツ語で書かれた文学作品を読んで文脈と個々の語彙から内容を理解することができる。作品の内容について自分なりの解釈ができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Ziel des Unterrichts ist, dass man über die Bedeutung der einzelnen Wörter und des Kontexts den Inhalt eines deutschen Literaturwerks genau verstehen und den Inhalt interpretieren kann.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1 ガイダンス

2 Tristan 講読 1, S. 216-219

3 Tristan 講読 2, S. 220-223

4 Tristan 講読 3, S. 224-227

5 Tristan 講読 4, S. 228-231

6 Tristan 講読 5, S. 232-235

7 Tristan 講読 6, S. 236-238

8 Tristan 講読 7, S. 239-241

9 Tristan 講読 8, S. 242-244

10 Tristan 講読 9, S. 245-247

11 Tristan 講読 10, S. 248-250

12 Tristan 講読 11, S. 251-253

13 Tristan 講読 12, S. 254-256

14 Tristan 講読 13, S. 257-259

15 Tristan 講読 14, S. 260-262

8. 成績評価方法：

平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

9. 教科書および参考書：

プリントを配布する。

10. 授業時間外学習：小学館「独和大辞典」、相良「大独和辞典」はもとより、Grimms Wörterbuch, Adelung, インターネットの DWDS など、あらゆる手段を使って予習をすること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

授業の形態(対面かオンラインか)は Classroom で指示する予定。

科目名：ドイツ語学研究演習 I / German Language (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LM12306, 科目ナンバリング：LGH-LIT636E, J, 使用言語：2 カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語・ドイツ語圏文化講読
2. Course Title (授業題目)：German Language and Culture (Advanced Seminar)
3. 授業の目的と概要：1) ドイツの雑誌（週刊誌）や近年の文学作品を読むことを通してドイツ語能力、ドイツ語圏文化の知識を身に着ける。
2) 雑誌記事または近年発表された文学作品を 3 週間当たり 1 作品（雑誌記事は 2 週間当たり 1 本）ぐらいのペースで読んでいく。
3) 適宜に発表・語りやディスカッションなど、他の言語活動も行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：1) Improving German language skills and cultural knowledge through the reading of journal articles and literature.
2) Reading German pieces of literature in 3 weeks, and journal articles in 2 weeks.
3) Other elements of the class include narration, presentation, and discussion.
5. 学習の到達目標：語彙を増やし、各自が持っているドイツ語を読む能力を高める。
また、ドイツ語のコミュニケーション能力を高める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Expand vocabulary and reading skills according to the texts read.
Expanding communicative skills through narration, presentation, and discussion.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
以下は、一例である。
 1. Lukas Bärfuss: Malinois
 2. Lukas Bärfuss: Malinois
 3. Lukas Bärfuss: Malinois
 4. Raphaela Edelbauer: Das flüssige Land
 5. Raphaela Edelbauer: Das flüssige Landl
 6. Raphaela Edelbauer: Das flüssige Land
 7. Sebastian Guhr: Die langen Arme
 8. Sebastian Guhr: Die langen Arme
 9. Sebastian Guhr: Die langen Arme
 10. Miku Sopia Kühmel: Kintsugi
 11. Miku Sopia Kühmel: Kintsugi
 12. Miku Sopia Kühmel: Kintsugi
 13. Tonio Schachinger: Nicht wie Ihr
 14. Tonio Schachinger: Nicht wie Ihr
 15. Tonio Schachinger: Nicht wie Ihr

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力時点では未定で学期初めに決まります。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

8. 成績評価方法：
毎回の授業参加、課題、宿題（原則として毎回）に基づく。
9. 教科書および参考書：
上記の「授業内容」で掲載された書籍を教材とする
10. 授業時間外学習：授業の準備、宿題
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
本シラバスは、対面授業が行われることを前提に作成されている。
もし遠隔で行われることになった場合、それに合わせて授業内容と方法が変わる場合がある。

科目名：ドイツ語学研究演習Ⅱ／ German Language (Advanced Seminar) II

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LM22307, 科目ナンバリング：LGH-LIT637E,J, 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：ドイツ語・ドイツ語圏文化講読
2. Course Title (授業題目)：German Language and Culture (Advanced Seminar)
3. 授業の目的と概要：1) ドイツの雑誌(週刊誌)や近年の文学作品を読むことを通してドイツ語能力、ドイツ語圏文化の知識を身に着ける。
2) 雑誌記事または近年発表された文学作品を3週間当たり1作品ぐらいのペースで読んでいく。
3) 適宜に発表・語りやディスカッションなど、他の言語活動も行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：1) Improving German language skills and cultural knowledge through the reading of journal articles and literature.
2) Reading German pieces of literature in 3 weeks, and journal articles in 2 weeks.
3) Other elements of the class include narration, presentation, and discussion.
5. 学習の到達目標：各自が持っているドイツ語の文学作品の読む能力を高める。
各自が持っているドイツ語のコミュニケーション能力を高める。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Expand vocabulary and reading skills according to the texts read.
Expanding communicative skills through narration, presentation, and discussion.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
以下は一例である。
 1. Sina Kamala Kaufmann: Helle Materie
 2. Sina Kamala Kaufmann: Helle Materie
 3. Sina Kamala Kaufmann: Helle Materie
 4. Gerhard Falkner: Schorfheide
 5. Gerhard Falkner: Schorfheide
 6. Gerhard Falkner: Schorfheide
 7. Clemens Setz: Der Trost runder Dinge
 8. Clemens Setz: Der Trost runder Dinge
 9. Clemens Setz: Der Trost runder Dinge
 10. Fatma Aydemir: Eure Heimat ist unser Albtraum
 11. Fatma Aydemir: Eure Heimat ist unser Albtraum
 12. Fatma Aydemir: Eure Heimat ist unser Albtraum
 13. Norbert Scheuer: Winterbienen
 14. Norbert Scheuer: Winterbienen
 15. Norbert Scheuer: Winterbienen

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力時点では未定で学期初めに決まります。Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

8. 成績評価方法：
毎回の授業参加、課題、宿題(原則として毎回)に基づく。
9. 教科書および参考書：
上記の「授業内容」で掲載された書籍を教材とする
10. 授業時間外学習：授業の準備、宿題
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
本シラバスは、対面授業が行われることを前提に作成されている。
もし遠隔で行われることになった場合、それに合わせて授業内容と方法が変わる場合がある。